

科目名	室内楽 I ～IV	形態	実技	開講期	春・秋
担当教員	実技担当教員	単位	1	年次	2～4

＝授業科目の目標＝

室内楽は音楽の演奏そのものを楽しむジャンルです。

複数の楽器による「会話」は演奏者の心を豊かにすると同時に聴くものに様々な想像を呼び起こします。

楽曲の魅力を十分に表現するための、アンサンブル力やテンポ感を身につけましょう。

＝履修の条件と学習の方法＝

任意の楽曲をまず授業前に練習して予習し、授業中に演奏しながら、楽曲について議論・練習方法などを検討していきます。

基本は弦楽四重奏の編成で授業をすすめていきますが、他の編成での履修も可能です。

＝授業内容＝

(2年次)

3期 (弦楽四重奏を例に) ハイドンの弦楽四重奏曲の一つを選び、第一楽章を勉強する。

4期 モーツァルト・ベートーヴェン・シューベルトなどの古典派の著名な楽曲を試奏する。

(3年次)

5期 ロマン派の弦楽四重奏曲を勉強する。

6期 現代の弦楽四重奏曲を勉強・研究し、弦楽器の特殊奏法などを学習する。

(4年次)

7期 一般社会において需要のある非クラシック素の音楽を勉強する。

各自、新しいレパートリーをもちより挑戦する。

市販のアレンジ譜の使い方を研究する。

8期 任意の弦楽四重奏曲を全楽章勉強する。

＝成績評価の方法と評価の基準＝

発表演奏の審査をもって、アンサンブル力の学習などを評価する。

＝その他＝

特になし